

子育て支援に関する提案

5月13日（土）霧島市子ども子育て会議に提案

鬼塚俊郎

霧島市民の人口増加を進める方策として、働く世代の市外流出の抑止、市内流入の推進のため企業を誘致する方法と、市民の子どもを産み増やす方法があるが、ここでは、子どもの出生者数の増加方法について検討したい。

霧島市における生産人口（子どもを産める人口）は、他の市町村に比べて多いと思われる。今後の少子化対策については、言葉やチラシで啓発しても市民が具体的に行動に移すことは困難な状況にある。

従って、子育てに関する環境の整備が第一義的なものと考えられる。この環境整備によって、目に見える人口増の在り方を考えたい。

その一案として、広く市民の意見を求め集約する必要がある。

「子どもを多く増やし、育てしやすい環境にするには」

をテーマに、幼稚園・保育所あるいは一般の市民を対象に意見を求める。
市内各幼稚園・保育園の全保護者にアンケート（提案募集）を実施する。

出された提案について子育て会議において協議し、集約する。

年内に、霧島市民会館において2時間程度のイベントを実施。この問題における講師の講演を行い、その後10名程度？の提案者に提案の趣旨の発表をお願いする。また、会場の市民にも提案を発表することも可とする。（講演については市長における霧島市の子育て環境の概要に関する講演も？）

イベントには、子育て会議の委員及び市長・保健福祉部長をはじめ関係市職員が同席。イベント閉会時に市長が提案について考察（所見）を述べる。

（イベント参加者について）

参加者は、市民会館席数を市内幼稚園・保育園定員数から案分し、割り当てるものとする。（各園の参加者名の事前提出、園長の協力を求める）

イベントにおける総括的な意見を行政で反映させる。